



社団法人 日本コントラクトブリッジ連盟 普及事業部

●東日本大震災復興支援にあたって…JCBLの取り組み

日本中が「今できること」を考え、少しずつ実行され始めています。JCBLでは3月25日に開催された理事会で、下記を決定、即実施されていることをお知らせします。

1. 被災地域にある仙台BC、東北電力BC、東北大学BC、つくばBC、日立BCの2011年度クラブ会費を免除
2. 同じく対象となる5つのBCの2011年3月11日から2012年3月31日までの間の競技会公認料を免除
3. 日本赤十字社に義援金として1000万円(注:内300万円はチャリティー基金からの拠出)を寄付

また、被災地で必要とされる支援物資の中に「トランプ」が入っていた2つの団体(「全国災対連共同支援センター」/岩手県沿岸被災地の子どもたちへの物資支援活動を行っている組織「マブリットキバ」)に、4月11日、橋之介カードを計1000個送りました。JCBLではこのほか、チャリティーゲームなどの開催も計画中ですので、今後とも皆さまのあたたかいご協力を宜しくお願いいたします。

※JCBLには早い時点で会員の皆様から「カードを寄付しては」などのご意見が寄せられておりました。ようやく、現場で必要とされる時期となったことからこの時期の寄付となりましたこと、ご理解のほど、宜しくお願いいたします。

●いきなりですが…4/15締め切り!「4/20 ビギナーズ杯△5MP/△20MP」@横浜BC!

試合が初めての方、まだ慣れていない方にも気軽に楽しんでいただくことを目標にしているJCBL普及事業部主催「ビギナーズ杯」です。NECBF初心者大会に参加された方、都合で参加できなかった方などにもお声をおかけください。

[ビギナーズ杯] 賞品多数!

- ・日時:2011年4月20日(水) 10:30~13:00/14:00~16:30
- ・会場:横浜ブリッジセンター 4階
- ・定員:△5MP部門/△20MP部門 各32名 (注)MPは2月末時点
- ・参加料: 会員 1,000円/一般 1,500円 (1セッション)
- ・申し込み:4月15日までにJCBL事務局へ

※当日入会も受け付けます。

※1セッションずつの独立したゲームです。

※ペアでもお一人でもエントリーできます。

●「5/1 横浜 mini ベイブリッジフェスティバル杯」@横浜 BC

ゴールデンウィーク恒例となったミニブリッジ大会です。

これまではオークションを習ったことのない方だけが対象でしたが、今年からコントラクトブリッジプレイヤーの皆さんにも参加していただけるようになりました。

ご家族やお友達をさそって、ぜひご参加ください。

- ・日時：2011年5月1日(日) 13:00～16:30
- ・会場：横浜ブリッジセンター 4階
- ・対象：ミニブリッジのゲーム宣言ができる方
- ・試合形式：ミニブリッジのストラティファイドペア戦（「経験」によって部門分けします）
- ・参加料： 会員・ジュニア 500円／一般 700円／ジュニアを含む家族ペア 1000円
- ・申込み： 4月25日までにJCBL事務局へ、ペアでお申し込みください

●「2011年NECブリッジフェスティバル・NEC杯」、優勝は「NEDUK」（オランダ・英国）チーム！

2月8日～13日まで6日間にわたって開催された日本ブリッジ界最大のイベント「NECブリッジフェスティバル」、今年も海外から、全国から大勢のトッププレイヤー（世界チャンピオンも多数いました！）が集い、熱戦を展開しました。

メインイベント「NEC杯」本戦には15の国と地域から48チーム249名が参加。優勝はオランダと英国の混成チーム「NEDUK」、準優勝は中国の「Heng Sha Ke Ji」でした。残念ながら日本のチームは9-10位タイが最高位という結果で、あと一步のところ上で上位8チームによる決勝トーナメントには進めませんでした。

「横浜SRR&スイス」(2/11、12)は初日55チーム、2日目61チームが参加、最終日の「飛鳥杯」には156ペアが参加、という盛況ぶりでした。

[参加国・地域]

中国(5チーム)、台湾、インドネシア、英国、オランダ、ブルガリア、オーストラリア、スペイン、韓国、カナダ、インド、スウェーデン、アイルランド、USA、日本。

●「NECブリッジフェスティバル・普及イベント」（2/11、12）へのご協力ありがとうございました！

普及イベント「Let's play マインドスポーツ！ ミニブリッジ体験教室 with 囲碁・チェス・チェッカー・シャンチー」そして「初心者大会3種」は、2日間の参加者数延べ約450名を数え、大成功に終わりました。

大雪予報まで出た悪天候、会場は昨年までのパシフィック横浜アネックスホールとは異なり、おなじパシフィック横浜でも会議センターというビルの5階。通りすがりにぶらっと立ち寄るという環境ではまったくなかったのですが、いざ、ふたを開けてみると、驚くほど次から次へとお客様が入ってくださり、おおいに盛り上がったイベントとなりました。

寒い雪の中、お手伝いにお越しくくださった皆様、本当にありがとうございました。2日間手伝ってくださった方、1日のみの方、合わせて計32名の皆様がお揃いの「赤いブリッジTシャツ」を着用して協力してくださいました。

それぞれのイベントのご報告は下記をご覧ください。

●初心者大会3部門、延べ193名参加

初めて試合に参加する人を対象にした「デビュタント杯」と「ビギナーズ杯 MP△5／△20」を2日間毎日開催しました。また、今年初めての試みとして、首都圏を除く北海道から沖縄までの9ブロックからMP△20未満の方を1ペアずつ抽選でご招待、試合開始前にディレクターが会場で紹介すると、あたたかい歓迎の拍手で迎えられていました。9ペアの皆様にはそれぞれ出身地を書いたカードを着用していただいたので、テーブルを移るごとにオポーネントとの話もはずんでいたようです。初心者プレイヤーさんたちの全国レベルでの交流の輪がここから始まることを願ってやみません。地元へ戻られた後、東北地方の方はご自身のブログで、中国地方の方はユーチューブで、「旅とブリッジ」の楽しさを伝えてくださっていました。ありがとうございました。

●「デビュタント杯」 2日間で延べ62名がデビュー！小学生ペアも2組！

デビュタント杯は初めて試合に出る方対象の大会。「日本一やさしい」スタッフがすぐそばに控えてムーブメントやスコア記入のお手伝いをしました。皆さんが「初体験」、遠慮も気兼ねも不要なせいか、皆様、緊張の中にも楽しそうに、でも真剣にこれまで覚えてきたことを何とか生かそうと頑張っていたらいいました。

1日目は大人に混じって、小学生ペアが2組参加、テーブルを動かすたびに皆さんから「小さいのにすごいわねえ…」とあたたかく迎えられていました。JCBLジュニアくらぶメンバーでもある彼らはミニブリッジでプレイの基礎を積んでいるうちに「赤いハコ



(=ビディングボックス)」に憧れ、「オークションしたい！」と自ら言いだしたジュニアたちです。このうちの1ペアが見事3-5位タイに入りました。ジュニアが登場した「デビュタント杯」はブリテンライターも注目、第5号、第6号のブリテンにプレイ中のジュニアの写真が載り、NECウェブページを通して世界中(?)にお披露目されました。



2月11日デビュタント杯



2月12日デビュタント杯

●「ビギナーズ杯△5」 2日間で延べ72名が参加

北陸／東海／中国／九州の招待ペアが参加した「ビギナーズ杯△5」。初日は九州ペア(長崎)が3位に、2日目は東海ペアが1-2位タイと招待ペアも活躍しました。「ブリッジと旅」の醍醐味にさらに「入賞」の喜びが加わりました！



2月11日ビギナーズ杯△5



2月12日ビギナーズ杯△5

●「ビギナーズ杯△20」 2日間で延べ59名が参加

こちらには北海道／東北／北関東・甲信越／近畿／四国の招待ペアが参加、初日に東北ペアが3位に入賞しました。



2月11日ビギナーズ杯△20



2月12日ビギナーズ杯△20

●NECBF一般参加イベント

『Let' s Play マインドスポーツ！ブリッジ with 囲碁・チェス・チェッカー・シャンチー』も大成功！

悪天候も、立地の不便さもなんのその！今年も賑わいました！来場者は最初受付でシールラリーシートを受け取り、お帰りの時に返却していただくことで、どの種目にシールが貼ってあるかで体験した種目がわかるようになっています。2日間で、ミニブリッジを体験した方は148名、囲碁87名、チェス76名、チェッカー(ドラフツ)65名、シャンチー71名、延べにして447名が体験、シートを返却せずに帰られた方もいらっしゃるのもっと上回っていると思われます。来場者層もさまざまでした。小学校低学年の親子連れも、大人一人だけでみえてずっとミニブリッジを体験していらした方も…。昨年からのリピーターさんがスタッフと感激の再会、というシーンも何度かありました。ミニブリッジ体験を終えて、さあ、次は何しようかな、との声もたくさん聞こえ、楽しんでいただけていることがよく判りました。このように皆様に楽しんでいただくことができたのは、ひとえにスタッフの皆様が笑顔で丁寧に接して下さったからこそでした。ブリッジの初体験＝「楽しい」と思っていただけました。このイベントの最大の目標が達成できました。そしてもうひとつの目標「マインドスポーツの概念を体験していただく」ことも、協力参加くださった日本チェス協会、日本棋院、日本チェッカー・ドラフツ協会、日本シャンチー協会のおかげで達成できました。イベントを盛り上げてくださったすべての皆様に心より御礼申し上げます。

●「マインドスポーツシールラリー」達成者51名！ 「お楽しみ福引」も豪華でした。

今年のマインドスポーツ5種目シールラリー達成者(5種目チャレンジャー)はなんと51名(去年は42名)！「次は何やってみる？」「囲碁に行こうよ。」「先にチェッカーしない？」「いやあ、シャンチーってやってみたかったんだ」といった楽しそうな声があちこちで聞かれました。大人も真剣にチャレンジしていましたよ。



●『チャリティブリッジ古書市』 …大成功。また来年も！

昨年末頃から各ブリッジセンターを通じて皆様のお宅に眠っているブリッジ関係の不用書籍あるいは新品カードの寄贈をお願いしていましたが、おかげさまでたくさん集まりました。事務局で汚れのひどい本を除いた上で、必要とする方に1冊(個)100円相当の寄付をいただき自由に持ち帰っていただくこととし、NECBFの後半3日間、会場内の目立つ場所で『チャリティブリッジ古書市』を募金箱とともに“開店”。どのような反響があるか全く予想がつかなかったのですが、ふたを開けてみると驚くほどのスピードで募金箱が埋まっていきました。関心を示した方たちは当初対象にしていた「新人」クラスではなく、「トップ」レベルのプレイヤーさんたちでした。「帰国したら生徒たちに配るんだ」とたくさんの寄付金を募金箱に入れて、段ボールいっぱい持っていったブリテンライターさんにはびっくりしました。寄贈された書籍のほとんどが英語だったことあるのですが、それにしてもこれほどのニーズがあるとは…。1日目で、新品カードも含め、ほぼ在庫ゼロとなったのです。最終的に23,124円が募金箱に入っていました。チャリティ基金から約27,000円を足しての計50,000円を、発展途上国の子どもたちの教育支援を行っているNGO団体「ルーム・トゥ・リード」の現地語書籍作成プログラムに寄付させていただき、ブリッジフェスティバル表彰式の壇上で同NGO代表者に進呈しました。

※ ふとした思いつきから始まった「プチ・イイコト」でしたが、その後「ルーム・トゥ・リード」のブログとFACEBOOKに「NECBFのチャリティ古書市で寄付をいただきました！」とお礼の文章を書いてくださり、ブリッジの紹介までしていただきました。こちらこそありがとうございました、という気持ちです。このように、誰かが要らなくなったブリッジの本が、他の誰かに必要とされて生き返り、現地語の本を必要としている子どもたちのための寄付金を生み出しました。素敵なリサイクルにつながりました。次はもっと大きなチャリティに進化させていきたいと考えております。来年もやります。お手元にご不用のブリッジ書籍がありましたら、ご案内するまでとっておいてください！



● 4月から福岡大学でブリッジ講座スタート

東京大学、早稲田大学に続いて福岡大学で、4単位が取得できるブリッジの特別演習講座「国際人の教養！ コントラクトブリッジを学ぶ！！」が4月12日(火)、開講します。経済学部の2年生を対象にした週1回(通年30回)、1時間半の授業で、実技を学ぶ演習編と、「ブリッジと西欧文化」「世界のブリッジ事情」「ブリッジと世界の教育」などをテーマにした教養編から構成されます。

来年はいよいよ福岡でのAPBFコンgres！きっと福岡大学から幾つものユースチームが誕生し、アジア・太平洋諸国のユースたちと交流・活躍してくれることと期待しています。

※この講座は、JCBL九州支部の提供講座とのスタンスで行われます。

● 同志社大学ブリッジクラブができました

関西地区では現在大阪大学、京都大学にクラブがありますが、同志社大学に設立されたことでさらにユースのすそ野が広がることでしょう。OB/OGの皆様、ロコミPRなど側面支援をよろしくお願ひします。

● “全国ブリッジ巡ってBINGO！” 最終年です！

申告はお済みですか？ まだ間に合います。全国の競技会に参加してビンゴ(用紙はハンドブックの中に入れてあります)を達成した方には、ビンゴ賞(5,000円の旅行券)をプレゼント！最終年のお楽しみとして、2009年度から今年度(2011年度)まで3年間のビンゴ達成者全員の中から抽選で1名を“2012年APBFコンgres福岡大会”へご招待します。ラストスパートしませんか？

● 2011年度「ブリッジ・インストラクター登録者」236名

ブリッジ・インストラクターの皆様、今年度も登録くださり、ありがとうございました。普及通信2010年5月号に書きましたように、「普及ネット」は、ブリッジ・インストラクターの皆様と普及事業部の「1人でも多くの人にブリッジの楽しさを伝えたい」という共通の思いが繋がって築きあげられたネットワーク、皆様と普及事業部が情報を共有する場でもあります。ブリッジ・インストラクターの皆様にお届けするこの「普及通信」には普及事業部の活動や報告を、JCBL会報では紙面の関係上、カットせざるを得ない細かい情報を、少しでも皆様にとって何らかのヒントになればとの思いから載せています。

「ブリッジを広めること」あるいは「ブリッジを広める活動がどのように行われているのか」に関心を持ってくださる方が周りにいらしたら、是非「普及通信」を読んでいただきたく、ブリッジ・インストラクター登録をお勧めいただければ幸いです。「人様に教えるなんて、とてとても…」と「ブリッジ・インストラクター」という呼称に躊躇されて登録を渋る方もいらっしゃるかもしれませんが、「無理に教えてくださる必要はありませんので、ご心配は要りません。こういう活動をしている、ということを知っていただくことで、一歩ずつ広まっていく、と考えている人たちのネットワークです。」とお伝えください。「普及通信」を読んでくださる方を増やすことにご協力いただければ幸いです。そういうお友達がいらしたら、ぜひ登録をお勧めの上、JCBL事務局にご一報ください。こちらから資料等お送りします。普及ネット拡大へのご協力を宜しくお願ひします。

● どこに何人のブリッジ・インストラクターがいる？

皆様のお住まいの地方のブリッジ・インストラクター登録者数をご参考までにお知らせします。

[2011年度ブリッジ・インストラクター登録者 都道府県別内訳と当該地域会員・会友数(2011年3月15日時点)]

1. 北海道地方:5名…会員会友 123名
2. 東北地方:3名(秋田県/宮城県/山形県 各1名)…会員会友 113名
3. 北関東地方:8名(茨城県3名、栃木県4名、群馬県1名)…会員会友 126名
4. 首都圏:169名(東京都84名、神奈川県69名、千葉県9名、埼玉県7名)…会員会友 5748名
5. 甲信越地方:3名(長野県2名、山梨県1名)…会員会友 17名

6. 北陸地方:4名(石川県2名、福井県/富山県 各1名)・・・会員会友 67 名
7. 東海地方:14 名(静岡県 10 名、愛知県3名、岐阜県1名)・・・会員会友 336 名
8. 近畿地方:7名(兵庫県4名、大阪府2名、奈良県1名)・・・会員会友 471 名
9. 中国地方:3名(広島県2名、岡山県1名)・・・会員会友 49 名
10. 四国地方:2名(徳島県/愛媛県 各1名)・・・会員会友 48 名
11. 九州/沖縄地方:16 名(福岡県 11 名、長崎県3名、佐賀県1名、沖縄県1名)・・・会員会友 166 名
12. 海外:2名(U.A.E./シンガポール 各1名)・・・会員会友 113 名